

令和3年度 学校経営方針

将来に夢や希望を持ち、自己実現をめざす力を備えた生徒を育成するために、様々な教育活動をとおして、個の伸長を図るとともに、自他を尊重し共に学び高まろうとする生徒を育成する。また、家庭・地域や他校種との連携を進め、保護者・地域の信頼に応えることのできる開かれた学校づくりを行う。

1 学校教育目標

『 社会人基礎力の育成 』

～新しい時代を生き抜き、地域や日本、世界で活躍する人間の創造～

2 めざす生徒像

- ① 【知】自ら学び、自ら考え、自ら進路をきり拓く生徒
- ② 【徳】あいさつや掃除が当たり前のできる生徒
- ③ 【体】すすんで心身を鍛え、最後まで粘り強く取り組む生徒
- ④ 【命】自他の命を大切に考え、正しい判断や行動ができる生徒

3 めざす教師像

- ① 生徒理解に努め、可能性を見だし、支援する教師
- ② 研究と修養に励み、学び続ける教師
- ③ 信頼と協調を大切にし、組織の一員として実践できる教師

4 めざす学校像

- ① 生徒一人ひとりがお互いを尊重し、生き生きと活動できる学校
- ② 教職員が組織としての信頼と協調のもと、協働する学校
- ③ 保護者・地域に信頼され、連携して学び合う学校

5 研究主題

『 主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりと支持的基盤を持つ学級づくり
～仲間と共に考え、学び、練り合い高め合う生徒の育成～ 』

6 重点教育目標(4つの重要課題～取組の柱～)

(1) 主体的・対話的で深い学びを実現する授業

- ・「授業づくり講座」や「教科連携部会」による授業改善（言語活動と深い学びの実感）
- ・教科シラバスや教科リーダー会を活用した生徒と教師の双方向での授業づくり
- ・キャリア教育や特別支援教育の視点で取り組む授業構成及びICT活用

(2) 確かな（基礎・基本）学力の定着

- ・個別最適化の取組（各教科課題を中心に） ・自学のノートの自主的な提出
- ・「学習タイム」「これ単検定」「読解力養成タイム」の取組
- ・読書活動の推進 ・長期休業中の学習会や7時間目進路補習

(3) 支持的基盤のある学級・学校づくり（生徒への組織的支援）

- ・生徒理解の徹底：朝の情報交換、Q-U、生活アンケート、面談や校内支援会
- ・生徒会を中心とした仲間づくり：ふれあい活動や行事等を通じて育む望ましい人間関係
- ・自他尊重の意識向上：道徳授業、学級活動、心の実活動、命の教室、バースデイ掲示等

(4) 連携・協働して学び合う学校づくり

- ・地域内外の人材活用：大正 Biz school、山の学習、命の学習、ふるさと学習発表会等
- ・連携教育の充実：認定子ども園（たのの園）～田野々小学校～大正中学校～四万十高校